

活動名：第28回喜多方市蔵のまちフットサルフェスティバル4年生大会

日 程：令和7年12月20日（土）・21日（日）

会 場：喜多方市押切川公園体育館

参 加：4年生 8名

帯 同：設楽・貝和コーチ

結 果：予選リーグ

VS Boavista	2：4	●	
VS 会津サントス	2：1	○	
VS エスペランサ	2：1	○	リーグ2位通過

決勝トーナメント

VS FC 高畠（山形県）	0：1	●
VS 会津美里	4：0	○
VS 喜多方中央	2：4	●

第6位／16チーム中

報 告：設楽

アーシが発足したところからご招待を受けて出場させていただいている大会ですが、今年度は4年生大会から5年生、6年生へと学年を分けて開催されており、スタートとして4年生が挑みました。

フットサル競技は5人制であることから4年生全員を参加対象にしても試合ができる人数を確保できるため、3年生選抜を徴集せず、今回は8名の参加者を受けて今大会に出場することになりました。

参加した4年生も今年のメンバーは表面的に勝気な様子をうかがえる子たちではないので、コーチは優勝させたくても、子供たちが今大会の目標はどこにあるのかを確認したく、「優勝」を目指すとのことを確認できたことから、コーチ側もその目標をサポートする大会にしました。

フットサル競技をする機会も少ない4年生たちですが、特練の参加は半分以上なので上級生たちとの合同練習で、徐々に試合で戦える姿勢が出てきたこと、練習で伝えてきた得点戦術を出せるかを期待していました。

大会本部でリーグ分けをしてもらい毎年試合が行われますが、私たちのブロックは結果的に今大会の優勝であった「Boavista」さんとの初戦からのスタートで、強豪チームとの初戦はとても大事だとコーチ側を構えていたので、強豪チームとの初戦の考え方としては、普段の練習で姿勢や技術において戦えるメンバーやポジション構成を決めました。

結果、ほぼ互角に戦っており後半の最後に2失点と惜敗でしたが、ここまで戦える感触を得たので、負けてしまってもリーグ2位を目指し、決勝に上がり Boavistaさんを破ろうという気持ちで切り替えました。

2戦目も今大会の結果は敢闘賞であった「会津サントス」さんで厳しい試合でしたが、初戦の厳しい相手に対応することができた選手たちはぎりぎりの戦いで勝利することができました。

2位を目指すためにはリーグを2勝することが必須でしたが、3試合目のエスペランサさんには引き分け以上で2位通過であったため、1，2戦をあまり出場できなかったメンバーで戦い、見事に勝利しリーグ2位として決勝トーナメントへ進出できました。

3試合目のアップ中にこう君が捻挫してしまい、二日目もお休みとなり8から7名になったことや、二日目の朝にそうすけ君が体調不良で出られないとのことから7名から6名となり、決勝トーナメントへ進出したのですが厳しいメンバー人数となり初戦のF C高畠さんとの試合に挑みました。

実は4年生メンバーはキーパーをやりたいと言ってくれる子が居ないため、無理やりですがボールをキャッチできると思われる子たちの中から、フィールドのポジション構成をみてコーチで決めています。

二日目も6名の出場できるメンバーの中からキーパーができる子の数名(できる子は半分以下)にお願いして試合をしました。

やはり強豪チームになると試合を中心とした育成であるため、決められたポジションがあり、キーパーも専属のようです。アーレのように即席のポジションではないので、チームワークや戦術も高く、なかなかの強敵でした。

だからと言ってアーレは試合に勝つことばかりの指導方針ではないのでそのようなチーム立ち向かって結果を出してきたことは育成方針として間違っていないと思っています。今大会も参加したメンバーのポジション構成をコーチ側で考えて、今できる技術を加味して戦略を決めて子供たちに伝え、一試合一試合に挑みました。

F C高畠さんは山形のチームで今大会は「準優勝」の強豪でしたが、0：0のままPK又は1点を奪い勝利できるかの戦いをしました。残念ですが残り数秒の失点を奪われ悔しい敗戦となり、今大会の優勝以下4位までの結果は無くなりました。

残りの会津美里さんや喜多方中央さんとの試合は、目標を失った子供たちでしたが、勝ちたい気持ちを出して戦っていました。

最終結果は6位／16チームでしたが、強豪チームとの戦いで惜敗した結果ですが、互角の戦いができたことは成長を感じました。

今大会を通して感じたことは、決勝に進出した2チームとの戦いや、決勝戦をみんなで見られたことで、強豪チームのレベルの高さを身近に感じられたことは良い刺激を受けたと思います。

上手になりたい気持ちを高めることで、練習する姿勢が変わり、目標を高く持てて、アーレだけの練習時間だけでは上手になることはできないと感じ、自主練（リフティングなどのボールフィーリング）をする気持ちになるのでは？と思います。アーレの先輩たちはそんな経験から上手になってきました。

現代の子供たちの環境は、学校の休み時間や放課後の遊びの中でサッカーの技術向上に励むことができる機会がありましたが今は少なくなり、クラブの練習時間がすべ

てになっているようです。そのようなことから平日の夜の練習会を企画して開催していますが、4年生たちの出席率はあがってきていますので、参加している子たちはレベルアップしていきいていると思います。

6年生まで練習量を増やすことで、今より大きく技術は向上するので、学校やご家庭で自主練ができない子ほど参加をしてほしいと思います。

二日間、遠い会場で熱い応援を頂きましたご父兄の皆様、ありがとうございました。今後ともご理解とご協力の程、宜しくお願い致します。また、主催の喜多方サッカー協会さま、大変お世話になりました。

来年の1月に開催される5年生大会は4年生の悔しさの分まで頑張り、アーレ旋風をまた巻き起こしてきたいと思います。

コーチ：設楽





